

中小企業あきた

- 1 秋田県地域事務局としてものづくり補助金の公募を開始！ 1
- 経済産業大臣に電気料金引き上げに対する要望書を提出 2
- 2 平成24年度「組合IT活用状況実態調査」の結果について(抜粋) 3

- 中小企業組合等支援施策情報 4
- 景況レポート2月分 5

- 話題の広場
中央会事業より 6
- 支援団体活動レポート 6
- アラカルト 7
- インフォメーション 8
- 組合ティールーム 8
- 人事異動 9

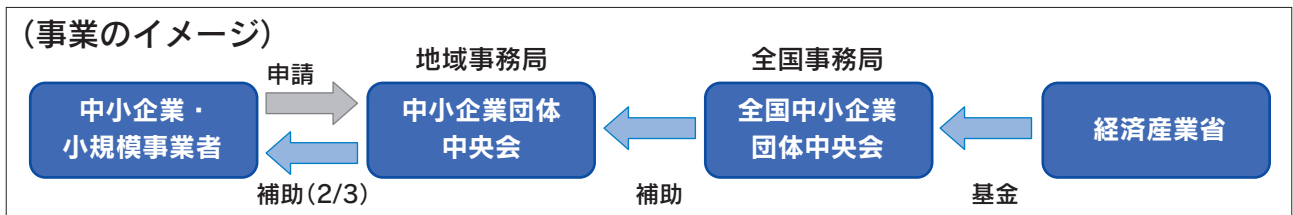
4
APRIL.2013



TOPICS 1 秋田県地域事務局として ものづくり補助金の公募を開始！

平成25年2月26日(火)、平成24年度補正予算が成立し、3月15日(金)から、本会が秋田県地域事務局となり、中小企業者が活用できる「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金」の公募を開始しましたので、是非、ご応募下さい。

【事業概要】 ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等を支援します。



- 補助率：補助対象経費の3分の2以内(1,000万円以内、下限100万円)
- 対象経費：原材料費、機械装置費、試作品の開発に係る経費等(人件費含む。)
- 対象者：下記の①～⑤のいずれかの類型に概ね合致する事業のうち、次項の22分野における技術を活用した事業に取り組む中小企業者及び小規模事業者

①小口化・短納期化型

グローバル競争が激化し、顧客ニーズが多様化する中、顧客からの多品種少量生産・短納期化のニーズに対応可能な体制を構築

②ワンストップ化型

複数の技術を組み合わせた一貫生産体制の導入などを通じて、顧客の幅広いニーズに迅速に対応可能な体制を構築

③サービス化型

長年培った知恵と経験を活用し、顧客のニーズに対して中小企業側から積極的な提案を行うなど、製品以外の付加価値をつけた形での商品提供が可能な体制を構築

④ニッチ分野特化型

潜在的なニーズがあるにもかかわらず、他社が気付かないまたは市場規模が小さいため参入しない隙間となっているニッチ分野について、ものづくり中小企業・小規模事業者の高い技術力と機動力・柔軟性を活かし、経営資源を集中して競争力を強化する体制を構築

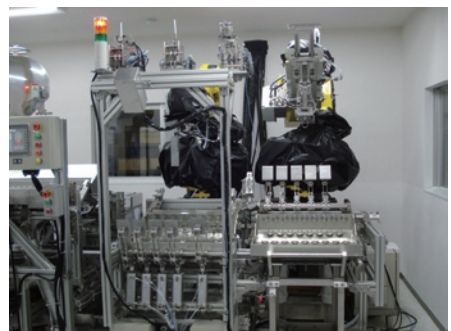
⑤生産プロセス強化型

新興国企業との競合や原材料価格の高騰などを背景に、低価格化のニーズに応えるべく、ものづくり中小企業・小規模事業者の柔軟性と技術力を活用して、従来の生産プロセスを見直し、生産性を向上させることで、品質を落とさずに低コスト製品に対抗しうる製品を生産

～平成21年度事業の試作品紹介～



【協和精工株式会社・CBNスパイラルエンドミル】



【宮腰精機株式会社 豚肉胴部除骨装置】

(対象22分野)

| | |
|----------------------|-----------------|
| 01 組込みソフトウェアに係る技術 | 12 金属プレス加工に係る技術 |
| 02 金型に係る技術 | 13 位置決めに係る技術 |
| 03 冷凍空調に係る技術 | 14 切削加工に係る技術 |
| 04 電子部品・デバイスの実装に係る技術 | 15 繊維加工に係る技術 |
| 05 プラスチック成形加工に係る技術 | 16 高機能化学合成に係る技術 |
| 06 粉末冶金に係る技術 | 17 熱処理に係る技術 |
| 07 溶射・蒸着に係る技術 | 18 溶接に係る技術 |
| 08 鍛造に係る技術 | 19 塗装に係る技術 |
| 09 動力伝達に係る技術 | 20 めっきに係る技術 |
| 10 部材の締結に係る技術 | 21 発酵に係る技術 |
| 11 鋳造に係る技術 | 22 真空に係る技術 |

第一回公募締切：平成25年4月15日(月)〔当日消印有効〕

※ 必ず郵送、宅配便等により本会(秋田県地域事務局)あて送付してください。

公募要領等：本会ホームページからダウンロードできます(<http://www.chuokai-akita.or.jp/>)。

※ 申請書は、公募要領の注意事項をご確認のうえ、作成してください。

申請書受付先・お問い合わせ先

秋田県中小企業団体中央会 秋田県地域事務局 (☎018-874-9443)

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 秋田県商工会館5F

経済産業大臣に電気料金引き上げに対する要望書を提出

3月19日(火)、東北6県と新潟県の中小企業団体中央会会長等が経済産業省を訪れ、佐藤ゆかり経済産業大臣政務官に要望書を手渡し、東北電力に対する電気料金値上げ幅の圧縮等について要望しました。本会からは高橋清悦専務理事が出席しました。

佐藤ゆかり政務官は、「東北電力にコスト削減を求め、地域経済への影響を減らすよう指導したい。」と述べられました。

なお、要望書の内容は次のとおりです。



【佐藤政務官(右から4番目)と高橋専務理事(左から3番目)】

電気料金引き上げに対する要望書

去る2月14日に、東北電力株式会社が本年7月より、商店などの小口利用者向けの「規制部門電気料金」を平均で11.41%の値上げを政府に申請し、併せて国の認可が不要な企業向けの「自由化部門電力料金」についても平均17.74%の大幅な値上げを行うことを表明いたしました。

現下の厳しい経済環境の中での電気料金のこのような値上げは、地域経済の太宗を占めている中小企業の自助努力の限界を遥かに超えたもので、企業の存続を危うくさせ、雇用をはじめ地域経済全体に深刻な影響を及ぼすこととなります。

特に、多くの電力を必要としている中小製造業や、共同受電を行っている中小企業組合などにおいては、事業活動の縮小や停止を余儀なくされる恐れがあります。さらに東日本大震災からの復興に取り組んでいる被災中小企業にとっても、その懸命な企業経営努力を根底から覆すこととなるものであり、復興に極めて大きな支障をきたすことが強く懸念されます。

つきましては、このたび電気料金の値上げを申請している東北電力株式会社に対しまして、全社をあげた最大限の経営効率化、徹底した経費削減による値上げ幅の圧縮及びこれらに関わる丁寧な説明並びに迅速な情報開示についてご指導下さいますよう、強く要望いたします。

本会では、会員組合事務局におけるITの活用状況を把握し、今後のIT支援に資する基礎資料とするため、全会員(354組合)を対象にパソコンやインターネットの活用状況についての実態調査を実施しました。

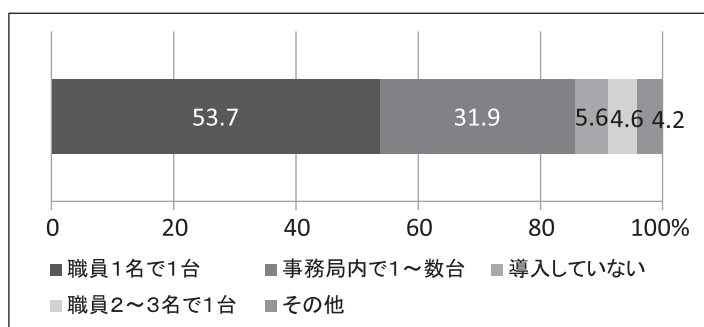
この度、調査結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。なお、詳細な調査結果につきましては、本会のホームページ(<http://www.chuokai-akita.or.jp/it/>)に掲載しておりますので、併せてご覧下さい。

| | | |
|---|------|-----------|
| 1 | 調査時点 | 平成25年1月1日 |
| 2 | 調査対象 | 354組合 |
| 3 | 回答数 | 216組合 |
| 4 | 回答率 | 61.0% |

1 現在のパソコンの導入状況

組合において、パソコンを導入しているかどうかについては、「職員1名に対して1台導入している」が53.7%と最も多く、次いで、「決まった割り当てはなく、事務局内で1台~数台導入している」が31.9%と、パソコンを導入している組合が全体の9割を占めている。パソコンは組合の事務にとっては必需品であることが伺える。(図-1)

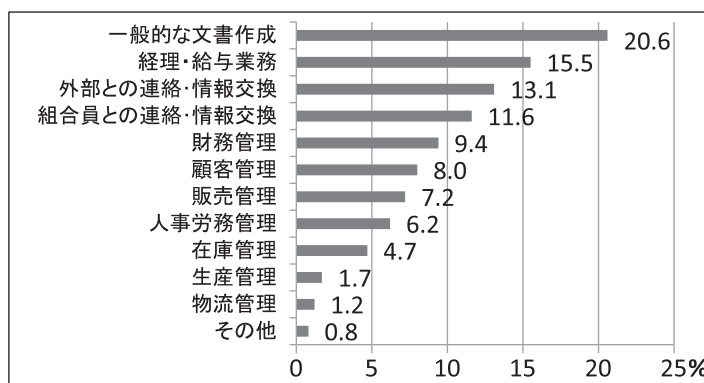
図-1 現在のパソコンの導入状況



2 パソコンを活用した業務について

パソコンを活用してどのような業務を行っているかについては、「一般的な文書作成」が20.6%と最も多く、次いで「経理・給与業務」が15.5%、「外部との連絡・情報交換」が13.1%、「組合員との連絡・情報交換」が11.6%となった。パソコンは、日常業務の文書作成や経理に大きな役割を果たしていることが伺える。また、財務管理や顧客管理等に活用しているという回答も多く、各種管理業務にも幅広く使われている。(図-2)

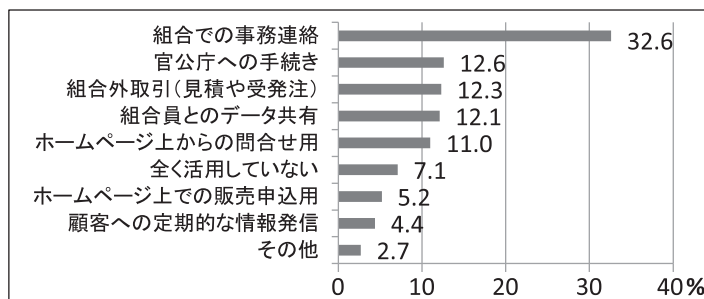
図-2 パソコンを活用した業務(複数回答)



3 電子メールの活用について

電子メールをどのように活用しているかについては、「組合での事務連絡」が32.6%で最も多く、次いで、「官公庁への手続き」が12.6%、「組合外取引」が12.3%となっており、組合では電子メールが事務連絡の主な手段として活用されていることが伺える。(図-3)

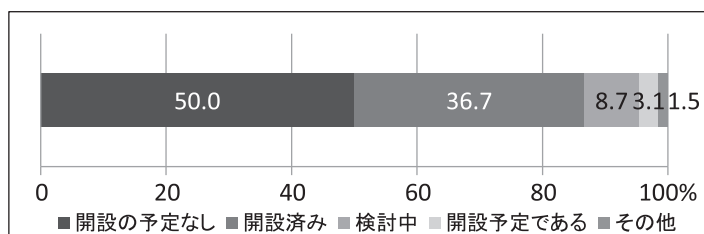
図-3 電子メールの活用について(複数回答)



4 ホームページの開設について

ホームページを開設しているかどうかについては、「開設の予定なし」が50.0%と最も多く、次いで「開設済み」が36.7%、「検討中」が8.7%、「開設予定」が3.1%となった。開設していない組合が6割程度あり、今後の需要に期待できる結果となった。(図-4)

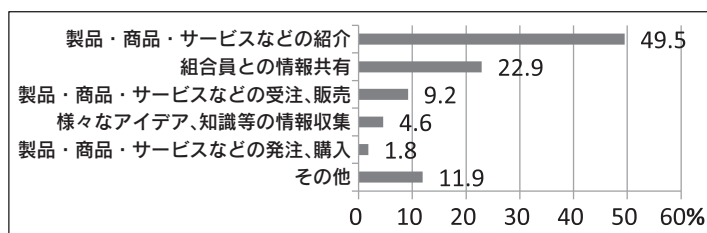
図-4 ホームページの開設について



5 ホームページの活用について

ホームページをどのように活用しているかについては、「製品・商品・サービスの紹介」が49.5%と最も多く、次いで、「組合員との情報共有」が22.9%となっている。（図-5）

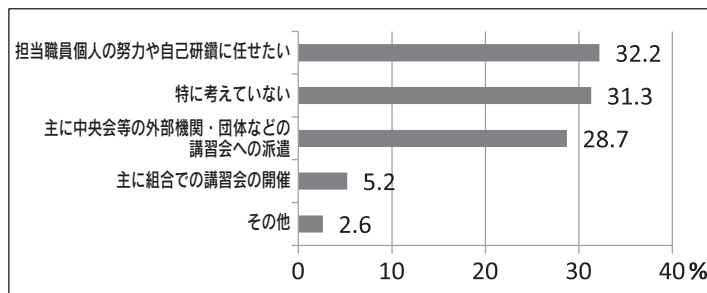
図-5 ホームページの活用について（複数回答）



6 組合事務局における人材のスキルアップについて

事務局における人材のスキルアップについては、「担当職員個人の努力や自己研鑽に任せたい」が32.2%と最も多く、次いで、「特に考えていない」が31.3%、「中央会等の外部機関・団体などの講習会への派遣」が28.7%となった。（図-6）

図-6 人材のスキルアップについて（複数回答）



この他の設問では、「今後のIT化推進において、中央会にどのような支援を求めるか」について尋ねたところ、組合の業務に合ったIT化のアドバイスを求める意見が最も多く、次いで、IT関連の研修の充実やホームページ作成支援を求める意見が続いている。この結果から、組合の規模の大小に関わらない画一的な支援より、各組合の規模や特徴に応じたきめ細やかな支援を求めていることが伺える。

中小企業組合等支援施策情報

全国商店街振興組合連合会が実施する以下の事業をご活用下さい。

■地域商店街活性化事業

商店街組織が地域コミュニティの担い手として行う恒常的な集客力向上や販売力向上が見込まれるイベント等の事業について助成します。

助成金額：上限額400万円(下限額30万円)

助成率：10/10以内(定額)

募集締切：平成25年4月5日(金)必着

【応募申請窓口】

秋田県商店街振興組合連合会(秋田県中小企業団体中央会・商業振興課内)

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 秋田県商工会館5階 ☎018-863-8701



【「地域商店街活性化事業」事業説明会の様子】

■商店街まちづくり事業

商店街等が地域の行政機関等からの要請に基づいて実施する、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備の整備事業等について補助します。

補助金額：上限額1億5,000万円(下限額50万円)

補助率：2/3以内

募集締切：平成25年4月12日(金)17時必着

【応募申請窓口】 商店街まちづくり事業事務局

〒104-8411 東京都中央区築地1-11-10 ☎03-5551-9291

なお、「地域商店街活性化事業」「商店街まちづくり事業」の募集要領、応募申請書類等は、全国商店街振興組合連合会のホームページ(<http://www.syoutengai.or.jp/>)よりダウンロードして下さい。

■本会ホームページをご覧ください！

本会ホームページでは、本会事業のご案内や活動の紹介、国・県等からのお知らせや施策、各種助成金・共済制度の紹介、中小企業関係法令や定款参考例、様式集などを掲載しております。

このたび、掲載内容等を見直し、見やすい、分かりやすい、使いやすいホームページにリニューアルしましたので、是非、ご活用下さい。

<http://www.chuokai-akita.or.jp/>

景況レポート

(2月分・情報連絡員79名)

製造業・非製造業とも横ばいで推移

～木材・木製品製造業に若干明るい兆し～

【概況】2月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが11.4%(前月調査7.5%)、「悪化」が41.8%(同40.0%)で、業界全体のDI値は-30.4となり、前月調査と比較して2.1ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-21.9で前月調査(-25.0)と比較して3.1ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-36.2で前月調査(-37.5)と比較して1.3ポイント上回った。

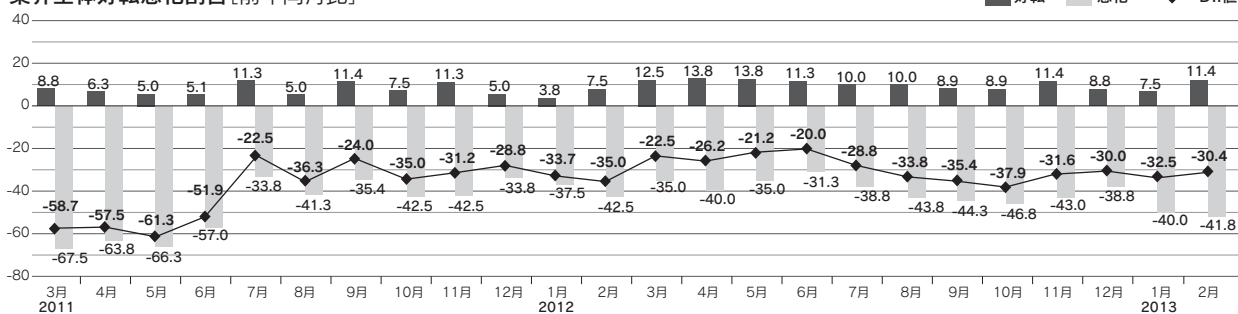
例年より気温が低く、降雪量が多い状態が続いたため、建設業や小売業をはじめとして多方面に悪影響が出た。一方で、木材・木製品製造業は本格的な需要期を迎える春以降への期待感が見られる。
(回答数：79名 回答率：98.8%)

| 項目 | 業界の景況 | 売上高 | 販売価格 | 取引条件 | 資金繰り | 雇用人員 |
|------|-------|-----|------|------|------|------|
| 製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ |
| 非製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☁ |

【凡例】
 ☀ 快晴 30以上
 ☁ 晴れ 10以上 30未満
 ☁ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △30未満 △10未満
 ⚡ 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

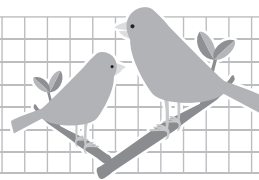
※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

| | |
|-------|--|
| 豆腐 | 原材料の大豆や燃料などが円安の影響により高値で推移しており、包装資材も値上げ要請が出されているが、製品価格には転嫁できない状況である。 |
| 一般製材 | ・ 土木資材の売上が増加傾向にあり、来月以降も受注の見通しがある。製材品は寒さのため生産を落としているが、価格の上昇を見越しての受注が増えており、本格的な需要期となる春以降に期待感がある。原木も製材品の価格上昇の気配から単価が上がっている。 ・ 流通在庫が少なく、合板のオーダーが多いメーカーでは1ヶ月以上も受注残を抱えるところも見られる。製品価格も上昇中で、明るい状況がしばらく続く見通しである。 |
| 生コン | 2月の出荷数量は前年同月比100.1%。4月～2月累計では前年比108.4%。最終的に今年度は、740,000m ³ (前年度比107.4%)となる見込み。豪雪により、工事が中断している物件もあり、3月以降多少ではあるが前年同期に比べ、出荷増が期待される。 |
| 自動車販売 | 2月の新車販売台数は、登録自動車1,980台(前年同月比91.1%)、軽自動車が1,975台(同95.4%)で、合計3,955台(同93.2%)であった。 |
| 石油販売 | ガソリンは1ℓあたり153円30銭で前月比6円の上昇、軽油1ℓあたり134円で前月比6円10銭の上昇、配達灯油は18ℓで1,871円と前月比102円の上昇となった。原油相場の上昇と円安進行で10週連続の値上げとなった。コスト転嫁が若干進み、3ヶ月ぶりに回復した。 |
| 商店街 | 家電小売は暖房器具や降雪によるテレビアンテナの倒壊等により前年並で推移。また、食料品等は昨年の「なかいち」オープン後、売上げが低下していたが、更に雪の影響もあり、低調に推移している。3月末には大手コンビニが進出予定であり、その影響が懸念される。(秋田市) |
| 一般建築 | 大雪のため、土木・建築工事とも、例年の冬以上に現場の状況が悪化した。除雪で多少の改善は見込んだが、住宅地への除雪の指令が例年より少なかった。 |
| 電気工事 | 前半は官公庁関係の受注工事で平年並みの状況だったが、後半は受注案件が少なかった。民間の増改築による照明器具等の受注も少しはあったが、総じて暇な2月となった。今冬は豪雪に次ぐ豪雪で、作業効率が上がらなかった。 |
| トラック | 数量、収入とも前年同月に対し5%減少、主な品目別では、自動車部品5%減少、自主米10%減少、その他貨物が10%増加、燃料価格は前月比で+5円、前年同月比で+8円80銭で推移した。3月も大幅値上げの通知を受けている。 |



中央会事業より

組合役職員事務セミナーを開催 ～年度末の事務処理等について～

3月19日(火)、秋田市の秋田キャスルホテルにおいて、「組合役職員事務セミナー」を開催し、会員組合等から70人が出席しました。

セミナーでは、税理士の磯崎悠耶氏から、『年度末の決算処理と税務申告について』と題し、事業年度末における決算関係書類の作成や税務申告等の諸届出と「中小会計要領」のほか、平成23年12月改正の減価償却制度は、演習を交えて解説していただきました。

また、本会職員からは、登記及び届出等の諸手続とその要点について説明を行いました。年度末の事務処理等につきましては、折り込みの事務手続一覧をご覧ください。



【セミナーの様子】

支援団体活動レポート

日本語作文発表コンクールを開催 ～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

3月9日(土)、秋田市のアキタパークホテルにおいて、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長 15会員)主催の「秋田県外国人技能実習生日本語作文発表コンクール」が開催され、県内の縫製企業で技能実習に取り組んでいる中国人実習生から、日本人の礼儀正しきや日本の食文化など、日頃の生活で感じている事などについて作文発表が行われました。

初の開催となる今回は、応募総数19点の中から一次選考を通過した9名が作品を発表後、審査員として本会の高橋清悦専務理事や株式会社秋田魁新報社の笠隆千代論説委員長等が審査を行った結果、曹云麗(ツアオ ユンリー)さん(能代山本繊維協同組合)が最優秀賞を受賞しました。このほか、優秀賞2名、優良賞3名、奨励賞3名が決定し、それぞれに表彰状が手渡されました。

佐賀会長からは、「コンクールに参加することにより、実習生の日本語能力についてレベルアップが図られた他、受入企業とのコミュニケーションも深められた。今後も、継続していきたい。」と抱負を述べられました。



【佐賀会長(左)と最優秀賞の曹さん】

通常総会・研修会を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

3月12日(火)、秋田市のパーティギャラリーイヤタカにおいて、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長 44会員)の平成25年度通常総会と研修会が開催されました。

通常総会では、平成24年度の事業報告及び収支決算が承認されたほか、平成25年度事業計画、収支予算が原案どおり満場一致で可決決定されました。

引き続き研修会が行われ、「秋田アクション問題を考える会」代表の佐藤光幸氏を講師に、「知っていますか？依存症」と題して講演が行われました。

同氏からの、「アルコール依存症やギャンブル依存症は脳の神経細胞にダメージを与え、その修復は困難である。」など事例を交えての講話に、日常生活に潜む依存症に陥る可能性等について、参加者一同改めて認識させられました。



【研修会の様子】

■「みそ健康セミナー」を開催

3月5日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県味噌醤油工業協同組合(浅利滋理事長)主催の「みそ健康セミナー」が開催され、約530名が聴講しました。

同セミナーは、身近な食材である味噌を見直すPR活動の一環として、味噌と健康を主なテーマに平成8年から毎年開催。今回は、アンチエイジングレストラン「リール」代表の堀知佐子氏を講師に、「みそでアンチエイジング」と題して講演が行われました。

同氏からは、「ご飯に味噌汁という和食の基本は、栄養素のすべてを補えるいい食事である」など味噌に含まれる栄養分やアンチエイジング効果等が紹介されました。

同組合のホームページでは、過去に開催されたセミナーの様子が紹介されていますので是非、ご覧ください。

【お問合せ】秋田県味噌醤油工業協同組合 ☎018-823-7141

ホームページ <http://www.chuokai-akita.or.jp/misosyoyu/seminar/seminar.htm>

～秋田県味噌醤油工業協同組合～



【セミナーの様子】

■鹿角市花輪の3商店街が「鍋の陣」を開催

3月20日(水)、鹿角市花輪の商店街で、「AKB(あきた鹿角美食) イベント鍋の陣」が開催され、地場産食材をふんだんに使用したオリジナルの鍋料理が買い物客等に無料で振る舞われました。

「鍋の陣」は3商店街が連携して開催、買い物客が三種類の鍋料理を食べ比べ、お気に入りの鍋一点を選んで投票してもらうイベント。鹿角市花輪大町商店街振興組合の「絶品! 春鶏巨柔鍋」、鹿角市花輪新町商店街振興組合の「まぼろしの鹿角牛ホルモン鍋」、かづの花通り商店街振興組合の「激ウマ! ぼかぼか鶏ショウガ鍋」が出品、投票の結果、「絶品! 春鶏巨柔鍋」が優勝しました。

また、商品券が当たる抽選会も開催されるなど、会場は終日大いに賑わいました。



【イベントの様子】

■再生可能エネルギーの発電設備として国が認定 ～能代森林資源利用協同組合～

能代森林資源利用協同組合(石郷岡一男理事長)は、平成12年のダイオキシン対策のための「廃棄物処理法」改正に対応するため、平成13年7月に米代川流域の製材業者等6社によって設立、事業協同組合としては全国で初めてバイオマス発電事業を実施し、森林資源の循環利用に取り組んでいます。

発電事業は、組合員から受け入れる樹皮や端材等を燃料としており、産出した電力や蒸気は組合員に販売するほか、余剰分については東北電力株式会社に売電しています。

平成24年7月1日に、再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、国が定める固定価格で一定の期間電気事業者に調達を義務づける「再生可能エネルギー特別措置法」が施行されました。

当組合でも、固定価格買取制度の適用を受けるため、経済産業省に対して組合が所有する発電設備について認定を申請していたところ、本年2月27日付けで認定されました。今後は売電収入アップによる安定経営が見込まれると期待しています。



【燃料になる端材等】



【発電プラント】

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度とは?」

再生可能エネルギーは、他の電源と比べて設置コストが高く、そのままではなかなか普及が進まないため、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスによって発電者が発電した電気を、電力会社に一定の期間・価格で買い取ることを義務付けることで、再生可能エネルギーの導入を促していくという取組です。

平成25年度本会通常総会開催(予定日)のご案内

日時 平成25年6月6日(木) 午後3時30分から
 場所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田(秋田市中通七丁目2-1)
 ※ 開催日は、4月以降に開催される理事会で正式決定となります。

本県より4名合格 ～中小企業組合検定試験合格者発表～

昨年、12月2日(日)に行われた平成24年度中小企業組合検定試験の合格者が3月1日発表され、本県からは、次の4名が合格されました。おめでとうございます。(五十音順・敬称略)

- 伊 藤 真奈美 (本荘由利電気工事協同組合)
- 佐 藤 ひとみ (秋田県印刷工業組合)
- 三 浦 桂 子 (秋田県家畜商業協同組合)
- 水 澤 綾 香 (秋田県生コンクリート工業組合)

※ 本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は「中小企業組合士」として認定されます。中小企業組合士は、事業協同組合等の運営エキスパートとしての公的資格で、本県では、71名(平成25年3月31日現在)が組合事務局や商工中金等で活躍しています。

中小企業組合士・中小企業組合検定試験については、本会企画広報課(☎018-863-8701)までお問い合わせ下さい。

金融円滑化法期限到来に伴う説明会が開催

3月13日(水)、秋田市の秋田第2合同庁舎において、秋田財務事務所主催による中小企業金融円滑化法の期限到来に伴う説明会が開催され、本会からは平澤孝夫常任理事が出席しました。

説明会では、東北財務局大橋達郎金融監督官より金融円滑化法の終了に向けた取り組みや中小企業支援等について意見交換が行われました。

経営者からは、「円滑化法自体が末端まで周知がなされていない」との意見が多く出され、本会からは、経営計画の作成支援件数の急増と再生支援協議会本来の業務への影響の懸念等の意見を述べました。

大橋金融監督官は、「中小企業等金融円滑化相談窓口」の設置を始め、中小企業者に対する国の取り組みのさらなる周知について述べられました。



【説明会の様子：大橋金融監督官(中央)】



組合ティールーム

協同組合秋田市民市場

副理事長 進藤 政弘 さん

(秋田県中小企業青年中央会 前会長)

○業界の現状について

当組合は、昭和37年に協同組合朝倉市民市場として発足。その後、現在の組合名に改称し、昨年設立50周年を迎えました。現在、61組合員で建物や駐車場の維持管理や生ゴミリサイクルなどの共同事業を行っています。市場の生ゴミは、大型処理機で発酵処理されて有機肥料に生まれ変わり、その肥料で育てたお米は「市場米」として販売しております。当組合としては、今後も、様々な「市場ブランド」の商品を開発して、秋田の玄関口である市民市場をPRし、集客に繋げていきたい。

その他には、本県が抱える高齢化や人口減少等の問題に対応するため、通信販売や宅配事業にも取り組んでいます。

当組合では、組合員企業の後継者や従業員等が所属する「若手会」という青年部組織があり、県外の市場との交流事業を中心に積極的に活動しています。「若手会」は秋田県中小企業青年中央会に加入し、県内をはじめ全国の青年部会員との交流を深めています。他の人の良いところを率先して取り入れ、近づこうと努力することで私達も成長していきたいです。

○座右の銘について

私の好きな言葉は、松下幸之助の名言の一つです。「希望を失うな。明日に夢を持って。夢を持つことが人生においてどんなに大切なことか。」というもので、どんなことも、あきらめたらそこで終わりですし、現状維持では、可能性が広がりません。仕事も趣味も、しっかりした目標や夢を持っている人は、目標のない人と比べると結果に明らかな違いが現れます。自分がそうありたいと思うと同時に、家族や仲間にも希望を持って力強く前進してほしいと願っています。

○趣味について

趣味は、旅行とスポーツ観戦ですが、ゴルフは自分でもプレーします。出かけるのが大好きで、旅先でゴルフや温泉などを楽しんでいます。



ハタハタ加工品製造業者の任意団体設立に向けて発起人会を開催

本会では、今年度のグループ創業バックアップ事業で、ハタハタ加工品製造業者の組織化を進めるため懇談会を3回に亘って開催し、5月中に活動団体の設立を目指して、3月25日(月)に第1回設立発起人会を開催しました。

発起人会には、設立発起人4人と県水産漁港課及び本会職員が参加。具体的な共同事業及び収支予算等について検討し、県外への積極的な共同宣伝を行い、会員企業の売上増加を図っていくことなどを決定しました。



【発起人会の様子】

起業活動活性化フォーラムが開催

2月28日(木)秋田市の秋田ビューホテルにおいて、秋田県農林水産部の主催による平成24年度「起業活動活性化フォーラム」が開催され、農産加工グループ等95名が参加しました。

フォーラムでは、企業組合等による活動事例発表や情報提供が行われたほか、本会からは、企業組合制度を活用した創業について紹介しました。

本会では、国の認定を受けた経営革新等支援機関として、「創業支援」、「経営状況の分析、事業計画策定支援」、「農商工連携コーディネート」等の支援を行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】本会 工業振興課・商業振興課 ☎018-863-8701



【フォーラムの様子】

『企業組合とは』

個人が4人以上集まって1つの企業と同じように活動できる法人で、組合員となる個人が自ら職場を作り出すことを目的とした組織です。株式会社同様に利益を追求できますが、登録免許税が非課税であるため設立時の費用が安く抑えられたり、議決権が一人一票であるなどグループでの創業に適した制度です。

人事異動のお知らせ

【秋田県】(4月1日付)

産業労働部(商工関係)の転入出者は次のとおりです。

《転入》()は前職、〈 〉は派遣 敬称略

◎産業労働部

- 産業労働部部長待遇(兼)東京事務所長(企画振興部次長) 明石 直樹
- 産業労働部次長(産業政策課長) 岩澤 道隆
- 産業労働部新エネルギー政策統括監(港湾空港課長) 土谷 諄一
- 産業労働部課長待遇(兼)秋田発電・工業用水道事務所長(公営企業課政策監) 豊嶋 利之
- 産業労働部課長待遇(あきた企業活性化センター)(地域産業振興課主幹) 三浦 尚
- 産業政策課長(産業集積課長) 水澤 聡
- 産業政策課政策監(教育庁生涯学習課政策監) 永井 義之
- 産業集積課長(商業貿易課貿易振興監) 猿橋 進
- 商業貿易課長(産業政策課政策監) 永田 徹
- 商業貿易課貿易振興監(学術国際局課長待遇) 石川 聡
- 資源エネルギー産業課長(小坂町副町長) 赤川 克宗
- 資源エネルギー産業課政策監(雇用労働政策課主幹) 高橋 博英
- 雇用労働政策課長(東京事務所企画政策課長) 保坂 伸
- 公営企業課長(北秋田地域振興局総務企画部長) 飯塚 政範
- 公営企業課政策監(公営企業課主幹) 鈴木 靖彦
- 産業技術センター総務管理部長(資源エネルギー産業課政策監) 草薨 利健

- 産業技術センター電子光応用開発部主席研究員(産業技術センター先端機能素子開発部上席研究員) 森 英季
- 産業技術センター先端機能素子開発部長(産業技術センター電子光応用開発部上席研究員) 高橋 慎吾
- ◎産業政策課
 - 総合調整主幹(北秋田地域振興局総務企画部地域企画課長) 千田 克彦
 - 副主幹(地域産業振興課副主幹) 石川 定人
 - 副主幹(秋田県信用保証協会)(雇用労働政策課副主幹) 高橋 源悦
 - 副主幹(産業政策課主査) 熊谷 政広
 - 主査(秋田地域振興局総務企画部主査) 田仲 節子
 - 主査(議会事務局総務課主査) 増村 伸宏
 - 主査(産業政策課主任) 福岡 晃平
 - 主任(総務課主任) 斉藤 友秀

◎地域産業振興課

- 主幹(地域産業振興課副主幹) 石川 誠悟
- 副主幹(雄勝地域振興局農林部副主幹) 傳農 満
- 副主幹(医務薬事課副主幹) 工藤 秀勝
- 副主幹(あきた企業活性化センター)(交通政策課副主幹) 佐藤 雅博
- 副主幹(地域産業振興課主査) 熊谷 健
- 主査(名古屋事務所主査) 干場 達和
- 主査(地域産業振興課主任) 佐藤 春樹
- 主査(同 主任) 佐々木優誠

- 主査(環境整備課主任) 櫻田 淳二
- 主事(企業立地事務所主事) 鎌田 忍

◎産業集積課

- 主幹(観光振興課主幹) 根田 好倫
- 副主幹(産業集積課主査) 安達 誠昌
- 主査(人事課主査) 石山 聰
- 主査(都市計画課主査) 佐藤 勝

◎商業貿易課

- 副主幹(名古屋事務所副主幹) 土門 啓介
- 副主幹(情報企画課副主幹) 小熊 新也
- 副主幹(商業貿易課主査) 加藤 淳弥
- 副主幹(同 主査) 小野 貴宏
- 主査(東京事務所企画政策課主査) 土谷 聡
- 主事(山本地域振興局総務企画部主事) 高橋 和美

◎資源エネルギー産業課

- 副主幹(健康推進課副主幹) 宍戸 明人
- 主査(資源エネルギー産業課主任) 佐藤 昌則

◎雇用労働政策課

- 主幹(労働委員会事務局審査調整課主幹) 戸澤 一弥
- 副主幹(観光振興課副主幹) 小川 純
- 副主幹(雇用労働政策課主査) 田村 知巳
- 主査(学術振興課主査) 佐藤 昭
- 主査(雇用労働政策課主任) 菅原 泰子
- 主任(建設政策課主任) 菅 香
- 主任(秋田技術専門校技師) 中村 順悦

《転出》 ()は派遣 敬称略

◎産業労働部

- 生活環境部長 佐々木 誠
- 秋田地域振興局長(兼)総務企画部長 鈴木 長彦
- 仙北地域振興局長 佐々木定男
- 鹿角地域振興局長 藤井 一徳
- 監査委員事務局首席監査監 伊藤 明光
- 秋田地域振興局総務企画部長(兼)地域防災監 三浦 泰茂
- 観光文化スポーツ部課長待遇(秋田県観光連盟) 猿田 和三
- 学術振興課長 米澤 輝夫
- 学術振興課研究推進監 有明 順

◎産業政策課

- 総合防災課主幹 小野 正則
- 監査委員事務局副主幹 藤井 浩
- 市町村課副主幹 佐々木 琢
- 議会事務局副主幹 鷲谷 昇
- 名古屋事務所主査 鈴木 隆史
- 農業経済課主査 土門久仁子
- 由利地域振興局建設部主事 畠山 幸樹

◎地域産業振興課

- 由利地域振興局総務企画部地域企画課長 羽川 彦祿
- 秋田うまいもの販売課副主幹 菊地 拓
- 学術振興課副主幹 大西 勝
- 秋田うまいもの販売課主査 佐藤 聡
- 教育委員会主任(勤務地：秋田市) 寺田 奉昭

◎産業集積課

- 人事課副主幹(秋田市) 佐々木英樹

◎商業貿易課

- 医務薬事課副主幹 佐藤 和彦
- 仙北地域振興局農林部主査 進藤 勝俊

◎資源エネルギー産業課

- 生活衛生課主幹 高桑 英雄
- 総合政策課副主幹 小西 弘紀
- 雄勝地域振興局建設部主査 藤原 徹

◎雇用労働政策課

- 労働委員会事務局主幹 佐々木正浩
- 監査委員事務局副主幹 佐藤 孝司
- 大曲技術専門校主査 塩川 啓
- 雄勝地域振興局総務企画部主査 小山 智工
- 平鹿地域振興局建設部主事 門間 勇也

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】(4月1日付)
()は前職 敬称略

《転入》

- 調査役(札幌支店) 中山 貴嗣
- 書記(盛岡支店) 阿部 忍

《転出》

- 横浜西口支店調査役 藤井 武亜
- 横浜支店書記 大石 論

【秋田県中小企業団体中央会】(4月1日付)
()は前職

◎総務企画部

- 事務局次長兼総務企画部長(事務局次長兼総務部長) 加藤 貢
- 総務課長兼企画広報課長(総務部総務企画課長) 佐藤 郁夫
- 総務課課長補佐(総務部総務企画課課長補佐) 堀江 哉子
- 企画広報課課長補佐(事業振興部大館支所長) 藤田 実
- 企画広報課主任(調査部調査広報課主任) 伊藤千恵子
- 企画広報課主事(調査部調査広報課主事) 黒政 祐亮
- 総務課主事補(総務部総務企画課主事補) 原田 千凡

◎事業振興部

- 大館支所長(事業振興部大館支所主査) 内藤 陽子
- 工業振興課主査(調査部調査広報課主査) 土田 慎
- 商業振興課主査(事業振興部商業振興課主任) 鈴木 実
- 大館支所主査(事業振興部工業振興課主任) 日時 均
- 横手支所主事(事業振興部横手支所主事補) 深沢さやか

【新規採用職員のお知らせ】

4月1日付で職員を新規採用しました。宜しくお
願い致します。



菅 佑輔(すが ゆうすけ)
【総務企画部企画広報課主事補】

【退職職員のお知らせ】

本会調査部長兼調査広報課長本間昭彦さんが、3月31日をもって定年退職致しました。
本間昭彦さんは、28年間にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大きく貢献されました。
今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

秋田流通サービス事業協同組合

| | | |
|----------------|------------|-----------|
| (株)出羽運輸 | 里見運送(有) | 合資会社塩喜運送 |
| (有)川津商事 | 千歳運送(有) | (有)丸橋運輸 |
| 六郷小型貨物自動車運送(株) | (株)秋田おぼこ運輸 | 姉崎商運(株) |
| (株)三ウラ産業 | (株)仙建 | 豊幸商事運輸(有) |
| 日通横手運輸(株) | (有)藤原運送 | ヨコウン(株) |
| 大曲小型貨物自動車運送(株) | 角間川運送(株) | 田沢湖運送(株) |
| 十文字運送(株) | エコー運輸(株) | 湯沢運送(株) |
| 川連運送(株) | (株)岡部興業 | (有)北國急行 |
| (株)美郷運輸 | | |

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

総合物流サービス業

YOKOUN

ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町 8 番 14 号 ☎0182-32-3667 Fax32-5672
<http://www.yokoun.co.jp> <http://www.facebook.com/yokoun>

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 山岡緑三郎
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

たばこは地元で！
～自治体の財政に還元されます～

 秋田たばこ販売協同組合

理事長 原田啓藏

〒010-0905 秋田市保戸野中町7-2
TEL.018(823)5077 / FAX.018(823)5078
E-mail: aki-tabakumi@acbb.net
URL <http://www.chuokai-akita.or.jp/akita-tabacco/>

鉄骨・橋梁・建築・耐震補強

千代田興業株式会社

がんばろう!東北
akita steel-rib
fabricators
association

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反170-49
TEL 018(864)6200(代)
建設事業部：秋田市川尻町字大川反170-19
TEL 018(888)3666

リース・保険で
安心と安全をお約束



株式会社

北日本リース

TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社

北日本ベストサポート

TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内

D I G I T A L S T R A T E G Y



デジタルネットワークでのアドバンテージ。

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600



秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

 ホテルメトロポリタン秋田

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222

<http://www.metro-akita.jp/>

つみかさねが、
人生をつくる。
私たちは、知っています。


BEST PARTNER
三井生命



【中央会共済制度のお問い合わせは】

三井生命保険株式会社 秋田支社
〒010-0921 秋田県秋田市大町 1-3-8
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

秋田営業部 TEL:018-863-1626
大曲営業部 TEL:0187-62-1337
大館営業部 TEL:0186-49-2459

湯沢お客様サービス室 TEL:0183-72-3230
能代お客様サービス室 TEL:0185-54-2520
本荘お客様サービス室 TEL:0184-23-2950

2013
4
Apr

中小企業あきた

平成25年4月1日発行 (毎月1日発行) 第635号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円